


みんなのひろばみんなのひろばみんなのひろば
みんなのひろばみんなのひろばみんなのひろば
みんなのひろば



身近な話題や、部落での催し物などがありましたら
広報係(2-1115)までお知らせください。
掲載された写真をほしい方は、広報係まで。

みんなのひろばみんなのひろばみんなのひろばみんなのひろばみんなのひろばみんなのひろば

別名「はがきの木」

文字が浮き出る多羅葉樹

東町の土屋源吾さん宅の裏庭に、別名「はがきの木」と呼ばれる珍しい「多羅葉樹」の木があります。この多羅葉樹は、葉の裏を棒などでこすると、黒く変色することから、原産地のインドでは、写経などに用いられていたそうです。「私が子供の時には、すでに植

えられていて、親からは「この木は外国からきた珍しいもので、はがきの木というんだよ」とだけ聞かされてきました。私の家に植えられたのは、江戸末期か明治の始めでは」と話す土屋さん。

当時は「お止木」と言われ、大名屋敷か神社などにしか植えられ



▲葉の裏に字を書くと、30秒ぐらいで文字が黒く浮き出てくる

横芝俳壇

横芝句会四例会

- 土屋 栗木
野薊がそのまま供華や道祖神 成田 様子
野薊の薺れば風の生まれけり 宇井 芝童
薊咲く枯れ伏す茎は去年のもの 若梅あやめ
苗代に水まくホース虹を呼び 海保恵保子
大雨や顔見合わせて春炬燵

鈴木 要

乗っ込みの浅瀬をのぼる鮎の群れ

住母家千夫

乗っ込みや村に土橋の只一つ

石毛 石汀

ふちどりて笹のいろつや忘れ霜

鈴木 南知

寸分も違はぬ鮎の乗っ込みし

向後まさ子

乗込鮎田の水口に掬ひけり

木下石果子

乗っ込みや腐って動く岸の杭

五木田烟花

鉄鉢に落花受けけり山頭火

安井ゆづる

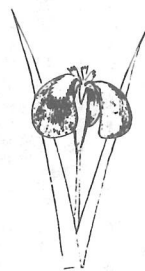
今朝の箱や乗っ込み鮎の二三匹

佐久間実枝子

ハンカチに水ふくませて薊折り

奥山 萌子

残る声ありて乗っ込み水さわぐ



横芝の碑

(一一一)

横芝の道祖神様(上)

横芝観音寺裏通りの道祖神様をご紹介します。その当時「自分の近くにも道祖神様が祭つてある」というご連絡を何人かの方からいただき、その場所を訪れ、また、私自身も道祖神の祠を見つけたに、近くの方々から、祠についての祭りや行事風習などを尋ねてみましたが、これと言つたお話は聞けませんでした。

道祖神については、道陸(どうろく)神、寒(さい)の神などの別称があることは、以前にも申し上げていますが、さらに古代には、

岐(くなど)の神、衢(ちまた)の神などとも呼ばれていました。この神様については、次のような故事が伝えられています。

神代の昔、伊弉諾(いざなぎ)の尊が、黄泉(よみ)の国を訪れて

の帰り道で、黄泉醜女(よもつしこめ)という悪神に追いかけられた時、これをさえぎるために持

っていた杖を投げつけました。す

と、その杖が一体の神となつて醜

女の追跡をさえぎり、尊は無事に

この世に戻ることができた、とい

うのです。



初めの木は枯れてしまい、この木は、まだ四十年ぐらいですかねーと話す土屋さん

なかつたため、現在でも、民家にあるのはごくわずかで、貴重な木とされています。

「子供のときは、葉の裏に字を書いて用をたしたこともありまし」と話す土屋さん。今でも時々、俳句などを書いて楽しんでるそうです。